

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価表

公表日：2026年3月20日

常勤5名 非常勤3名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		人数が多いと思われる時は活動を2つに分けている 個別対応が必要な場面では環境を工夫している
	2	職員の配置数は適切であるか	8		他園と協力しながら職員を配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		トイレは段差があるので注意している 段差部分には養生をして安全に配慮している 適宜環境は整えている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	8		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		研修アプリを取り入れている。各自見られるようになって いる
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		支援に入る前に、支援計画を見てから入るようにしている
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		年間、週間と、プログラム計画を基に行われている 意図して固定しているものもあるが、毎年子どもの特性に 合わせて見直している
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	8		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		毎日打ち合わせ、振り返りを通して、気付いた点を共有して いる
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		業務日報等での確認を行っている
19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		概ね管理者が行っている
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		概ね管理者が行っている
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		必要であれば保育園等を訪問したり、電話で情報共有している
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8		Aコースでは児童センター、外出支援先などで自然な交流につながることがある 外出先での、公園や児童センター、道中でのあいさつなどがある Aコースでは外出があるため、子どもたち同士の交流が目的ではないが、外出先で交流が生まれることはあった
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	管理者等が出席している
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	4	保護者からの相談に対し、日々個々のニーズに合った提案を行っている 聞かれたことについて対応している 現在計画している。保護者参加行事の中で類似した取り組みも取り入れている プログラムとして提供してはいないが、保護者からの相談に個別に対応している	
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		年2回の参観行事「めるへんtime」の懇親会での交流がある
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		

	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	個人情報保護の観点から直接訪問の機会は設けていないが、園の広報としてSNSを用い、地域の方々からもフォローを頂けていることで、園の運営について関心を持って頂くきっかけになっている。 地域の中学生の職業体験の受け入れを行っている 品川区の障害者作品展に毎年出展している
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1	保護者への周知と言う点では改善が必要と思われる 職員だけの避難訓練、おんぶの仕方など、行ってもいいのでは？
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		年2回避難訓練週間を設けている
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		朝の受け入れ時に服薬に関して聞いている
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	保護者から詳しく聞いている
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		